

日商簿記3級受験対策講座 カリキュラム

講座紹介文

本講座は簿記の初学者を対象に、基本原理、一連の全体的な大きな流れ(メカニズム)を理解させ、取引の仕訳に始まり、決算による財務諸表の作成に至るまでの一連の記帳能力を養成し日商3級検定合格を目標とする。

回数	カリキュラム
1	簿記の基本原理とその全体的なメカニズム 簿記上の財産 (A)資産・負債・資本→貸借対照表 (B)収益、費用→損益計算書、取引の分解と勘定記入の原則(貸借平均の原理)
2	取引→仕訳→転記(元帳)→合計試算表→残高試算表→精算表→損益計算書、貸借対照表 (一連の大きな流れを数字で概要を説明)
3	基本取引の記帳(仕訳と補助簿記入・締切り) 現金(現金出納帳)、当座預金(当座預金出納帳)、小口現金(小口現金出納帳)
4	検定対策演習1 商品売買(3分法)仕入帳、売上帳、商品有高長 (売上原価算出と売上総利益の計算)
5	売掛金と売掛元帳、買掛金と買掛金元帳 手形取引(納束手形、為替手形)と受取手形記入帳、支払手形記入帳
6	その他の債権、債務の処理 有価証券の売買(株式・社積)
7	検定対策演習2 固定資産の取得と売却 個人商店の資本処理…引出金、追加元入 税金の記帳
8	決算整理と決算 (1)期末商品棚卸高の整理 (3)減価償却費の計上 (2)貸倒引当金の計上 (4)有価証券の評価
9	(5)(消耗品、仮払金、仮受金、誤記入・未記入科目の処理、現金過不足の処理) (6)収益、費用の繰延、見越しの処理
10	予備決算(精算表の作成)
11	本決算(帳簿決算)→総勘定元帳締切→ 損益計算書・貸借対照表
12	伝票式会計(3伝票制)起票と集計 1回～12回までの中で、最重要ポイントの整理
13	日商検定対策練習問題の実施(検定対策演習3・4)
14	日商検定対策練習問題の実施(検定対策演習5・6)
15	受験対策に関するまとめ

(準備用具等: 電卓・黒、赤ボールペン・定規・大学ノート)